

2023年度長野県ソーシャルワーカーデイ4団体主催企画 「ソーシャルワーカーの使命・専門性・可能性」を考えるフォーラム

障がい者の人権を守り権利の実現に向けた取組みを規定した「障害者権利条約」を批准して10年目を迎えました。昨年度、長野県では障がいのある人もない人も、一人ひとりの違いを認め合いながら、共に生きる長野県をつくるための条例が施行されました。しかしながら、県内外を問わず、障がい者に対する暴力や虐待事件等様々な人権侵害は後を絶ちません。今こそ、福祉や医療、地域等の現場で働くソーシャルワーカーに求められる役割は大きくなっていると言えます。原点に戻り、様々な実践を通じ「権利を支えるソーシャルワーク」について考えます。

ソーシャルワーカーデー：社会福祉関係の全国17団体で構成するソーシャルケアサービス従事者研究協議会は、「海の日」をわが国のソーシャルワーカーデーとすることを決めました。海はすべてを包み込み、生命を生み出す母胎であり、力強さにあふれていることから、これを契機にソーシャルワーカーに対する関心と理解を拡げる象徴として認定しました。(日本ソーシャルワーカー連盟(JFSW)HP「ソーシャルワーカーデー宣言」より)

日 時 2023(令和5)年 7月9日(日) 13:30~16:30

開催方法 ZOOM ウェビナーによるオンライン開催

参加費 無料 対象 関心のある方 定員 150名



～障害者権利条約から10年 権利を支えるソーシャルワークを考える～

13:30 開会 ◇演 題 『障害者権利条約批准から10年 その後の現状』

13:35 基調講演 ◇講 師 尾上 浩二氏 (DPI日本会議 副議長)

15:15 シンポジウム — 権利を支えるソーシャルワークを考える —

◇シンポジスト

伊藤 正貴氏 長野県医療ソーシャルワーカー協会(鹿教湯三才山リハビリテーションセンター)

荒川 豊氏 長野県精神保健福祉士協会(社会医療法人 城西医療財団 豊科病院)

相馬 大祐氏 日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック長野県支部(長野大学)

吉澤 利政氏 長野県社会福祉士会(社会福祉法人 長野市社会事業協会)

◇コメンテーター 尾上 浩二氏(前掲)

◇コーディネーター 三村 仁志(長野県社会福祉士会 事務局長)

★申込方法★ 下記 URL もしくは QR コードからお申し込みください。

後日、事務局より案内メールをお送りいたします。

<https://forms.gle/MrhfgpAJhVfPNQ897>

申し込み〆切 7月3日(月)

問合せ先 公益社団法人 長野県社会福祉士会

TEL:026-266-0294 FAX:026-266-0339 E-mail:info@nacs.jp



主 催：一般社団法人長野県医療ソーシャルワーカー協会、長野県精神保健福祉士協会、日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック長野県支部、公益社団法人長野県社会福祉士会
後 援 (予定)：長野県、社会福祉法人長野県社会福祉協議会